

2020（令和2）年1月15日

令和元年度 愛知県支部 1月行事 「ふれあい技術士プラザ」 開催報告

企画研修委員会 跡部昌彦

2020（令和2）年1月12日(日)の午後、公益社団法人日本技術士会中部本部愛知県支部の1月行事「ふれあい技術士プラザ」を、中部大学名古屋キャンパスで開催いたしました。出席者は19名で、内訳は愛知県支部の方が16名、岐阜県支部の方が2名、三重県支部の方が1名でした。また、愛知県支部の行事に初めて出席された方が2名、久しぶりに出席された方が2名みえました。

出席される皆さまには、予め「自己紹介文」（A4縦1枚）を提出いただき、当日、それを綴じた冊子を、当日にお配りいたしました。

13時30分から、支部長の水野様の挨拶で始めました。そして、出席者から「自己紹介文」に基づいて3分間スピーチをしていただきました。皆さん、経歴や専門分野の話から始まり、今後やりたいこと、考えていること、趣味などの話をされました。それが終わった15時から、6名ずつくらいの3グループに分かれてもらいました。前述した4名の方（初めて出席された方、久しぶりに出席された方）をそれぞれのグループに配置し、その方々を取り囲む形でグループを構成し、その方々の課題や悩みなどを解決する形でグループディスカッションを行いました。少人数なので、「技術士は知名度がない」、「技術士のメリットは?」、「総合技術監理部門は意味があるの?」、「どうやって業務開拓するの?」など、本音で話し合うことができました。最後は16時から、1つにまとまって、酒類、飲料、お菓子を喫食しながら、さらに、いろいろな方々との交流を行いました。17時に副支部長（企画研修委員長）の行本様による締め言葉で会を終えました。



出席された皆さまに書いていただいたアンケートによりますと、自己紹介の発表やグループディスカッションを期待され、「よかった」と満足された方々がほとんどでした。意見としては「ざっくばらんな雰囲気、交流を深めることができた」、「いろいろな立場の方とふれあい、たいへんためになった」、「久しぶりの参加で、他業種との交流ができる良い機会だった」、「楽しかった。本音が聞けた」、「非常にフレンドリーだった」、「もっと、こういうイベントをやってほしい」、「また参加します」などがありました。



参加者は19名で、決して多いとは言えませんが、会員の交流を目的とした「ふれあい技術士プラザ」は有用なもので、この企画をしてよかったと思います。ただ、参加者が固定されてきますと、同じ方の話ばかり聞くというマンネリになってしまいますので、新しい方に来ていただかないと続きません。青年技術士会と連携して、若い方に来ていただくというものよいかもしれません。